

# 夕刊 常磐新報

五日十月五日廿五日廿五日  
定價 一月二角五分 三月七角 半年一元二角 全年二元二角  
廣告料 第一行五十字 每日  
印刷所 常磐新聞社  
發行所 常磐新聞社

## 四ツ倉港修築

### 起工式に直面して

四ツ倉港は永年漁港修築の爲め、俱に其學を悦び祝を自慙として不撓不屈努力奮する次第である。の結果漸く其主張を認められ四十四萬圓にて漁港の指定を見、来る九月廿日、期こ四ツ倉町に於て修築起工式を舉行する運びになつた。

## 時事漫筆

惟に四ツ倉港は小名濱港運動會時より俱に運動を續立以來の努力と生命線たるが故に認められ漁港の完成を告げて以來廻舟等は勿論四ツ倉港もこの問題は人間としての大なる運に運搬する如き状態にて小名濱港の發展は目撃し其れに反し四ツ倉港は凋落の途を辿る外なき有様に鑑み四ツ倉町民も町の發展は漁港修築にありと期して期けた非常時内閣閣員以來既成同盟會を興し町長組合長を初め町民の寢食を忘し其の秋新時代に適應する政務達成に猶進し就中木村前代は一般が真剣に慾望する折議士の如きは四ツ倉港の遠眺國民の總意に一つりし成は自己の責任の如く獻た新政黨は寧ろ社界一般が身の盡力を拂われなごは歡迎することならん、周圍一般周知の事實である。其舉町一致の勞苦空しくも近き將來に於ては國民のらす四ツ倉港の起工式も目歸趨速進するに難からず要腿に迫り町民の爲め漁業發は主唱者たる松本氏の真剣

## 濱三郡 最初の長者議員

なる覺悟と不純なる迎合せ入々が材料を中止して爲む予國家的純理的に最後のべき仕事が無ひ爲めだとい人迄理想に邁進されん事を一言申述して置く。

## 小名濱 二業組合が先に

の候補者として立候補し周吉田屋を加え永年の宿題を解決してやれ好かつたと言ふ間もなく再び日ならる、まして本人や運動に携す除名處分になつたか何れは是非は兎も角として吉田屋として面目上餘り芳しくない。

## 愛國機 愛國機福島號も

十八日には命名式を舉行し縣下上空を飛ぶ縣民の總意愛國の凝結として其の舉を壯として祝福する。

## 各町村 共今回の土木救

匡事業は愈々工事に着手しなればが儘に手足ならむも働き得ない慘なる者活す事も社會政策上必要なものではあるまいか。

## 永くこたして其歸趨

を知らなかつた小名濱消防組問題も消防顧問の間幹旋の勞空しからず、眞の圓聲の言葉の如く無條件にては將來共に一農夫で満足するや否や氏は轉身的の時が途中に待つて居るのではなだらうか、未だ五十才には間のある氏が二期の町議に議員振を見せて居る...

## 社 第一步

の印象 小名濱町議 堀越新平氏 氏は警備屋系統を代表する町會議員と云ふ事が出来るであらう氏の現在を除く物堀越氏の將來に進展の道であらう氏の現在を除く物堀越氏の將來に進展の道であらう氏の現在を除く物堀越氏の將來に進展の道であらう...

## 常磐春秋

(19) 飯塚榮一郎氏は老ひたりと云ひ共小名濱の感星として没却する譯には行かない。記者は先輩として敬意を表すべく門を叩く。未だ六十二才と云ふに年より容顏を見ただけでは大部老ひたなあ——と直感させる。談話を町長後任問題に及ぶと乃公出すんば

## 忘るな 忘るな 九月十八

日の満洲事變一週年記念日の明快なる口調にて焔々數千言町政問題の講義を聞かざる——記者は鈴木町長も今度退任する体で迅速一步も誤らざる体の人を町長に推薦しなけれはならぬ此種輸入候補などを入る必要はないと思ふ私も永年の功績上此際町長をやれと云ふなれば早速受諾もするし又充分なる抱負も有して居る私は此迄も町長をやらうと思ひ既に其時機はあつたのだから——と御鉢は目の前にぶら下つて居る様な案配式に至極上氣嫌

## 債務調停法

近々實施する 此の十月一日より實施する金融貸借臨時調停法は非常時の此際最も意を得た法律案である其大要を見るに昭和七年七月三十一日迄の貸借問題に對してのみ適用して其れ以後の債務に對しては全然此の法律は適用しない、然らざれば金融の圓滑上金融業者の貸出し躊躇を來し由々敷結果を恐れた爲めならむ又債務者の惡意にて法の適用を惡用する怖れがあるからなるべし此の調停法は高利貸し方面に重点を置き即ち手引料と稱して一二割の天引を巻上げたりにして元金を元金位も支拂つたと言ふが如きものは此の法律にて話をつけることが出来る、金額は一千圓以下に限定されて居るだけに中小商工業者や自作農以下のためには生れたと云ふ事が出来る。只物足らぬ感を感ずるのは小作料とか地代家賃等は調停法に依ることが出来ない、其れに依るの貸金も調停法に出る場合が多へとある、要は調停法なるものは公平なる第三者の立場より法律的に仲裁法として見ることが出来るであらう。

### 十二日 小名濱急施 町會のぞ記

今回の非常時土木救済事業の小名濱町會は三萬圓の金を以て漁港改良工事を起工する事になつた此の三萬圓工事の内四分一は七千五百圓は地元たる町の負擔になる此の七千五百圓を町と漁業組合にて如何なる割合にて出金するかを協議する爲めの急施町會なる町會議員の外漁業組合長も参加して協議會に入る議長たる町長の説明ある其説明中特記すべきは地元負擔の四分の一即ち七千五百圓は二十ヶ年賦の町起債を許すに尙ほ三ヶ年の利子は政府にて補填して呉れる事になつてゐると非常時らしき空氣を漂した七千五百圓の二十ヶ年賦償還とすれば年に三百七十圓余だ、先づ漁業組合長の改良漁港工事の概略を説明し議長より町と漁業組合との出金割合を協議にかける、二三の質疑應答があつたが、一萬千圓の三分一、二と言ふ處にて協議一決した町議長も議場に臨みば町民を代表すると云ふ氣分からか仲々に氣前も好ひ年中あの意氣で事に當つたらと其堂々たる振舞には浦山しさを覺ひた、町長の議長振りは數年の鍛煉からかよくよう迫らす議員を押し替ける事なく自由に議題を扱味する精神的の餘裕を興ひあつた、議事進行振りは立派なものだ。

附記漁業組合の三分二出金は組合より町に寄附の形式になる由

良品廉賣に勝る商略なし  
**磐城セメント** 代理店  
 和洋鋼鐵 釜屋商店  
 金物問屋  
 電話九番  
 電話一〇九五六番  
 振替貯金口座一〇九五六番

外科専門  
 レントゲン科  
**上田外科醫院**  
 病室の設備入院應需  
 平町南町  
 電話二一九番

**磐城水産工業株式會社**  
 社長 小野晋平  
 支配人 福尾伊太郎  
 小名濱町  
 電話六六番

内科・外科  
 花柳病科・小兒科  
**中村醫院**  
 レントゲン科開設  
 病室の設備あり  
 小名濱町  
 電話十八番



清水屋本店  
 清水正宗 醸造元  
 小名濱町中通 電話六番

宮内善進堂製品代理店  
**山野邊藥局**  
 平町五丁目  
 婦人座藥 美神丸 二週分 三五〇〇  
 婦人内服藥 美神湯 一週分 二、八〇〇  
 毒退治妙藥 ヨーテツ丸 一圓 二圓 三圓  
 淋病根治劑 美神淋藥 二〇分 四、五〇〇  
 祛痰鎮咳の 美神セキ藥 一五〇圓  
 口中香水劑 超 仁 二〇三〇  
 徳用包五〇〇  
 初秋の候となりました、皆々様の御健康に一層の御留意を願ひます、藥事衛生の御相談は是非弊局へ

内科・外科、小兒科  
 花柳病科  
**佐瀬醫院**  
 新潟醫學士 佐瀬恒夫  
 小名濱町中島  
 電話一三五番

一般口腔外科  
**木田齒科醫院**  
 小名濱町  
 電話一〇五番

自信アル御料理  
 美人のサービス  
**カフェーキラク**  
 小名濱町中島通  
 電話四七番

圖書・出版・雜誌  
 一册五錢十錢の  
 均一ものより  
**大衆向書籍**  
 讀書家の便法もあり  
 ▼新古書籍高く買入▲  
 小名川橋畔  
**布袋屋書店**

書籍文房具  
 運動具は—  
**友柴田書店**  
 平町四丁目  
 電話二三四番

美術石版印刷  
**高野印刷所**  
 小名濱町下横丁

内外科、耳鼻咽喉科  
**宮津醫院**  
 小名濱町西町

流行は  
**三井吳服店**  
 平三・電三八

藥問屋  
**西村屋藥舖**  
 平町二丁目  
 電話三番